

# 重要事項(マテリアリティ)のKPI

グループ重要事項(マテリアリティ)の取り組みを推進するため、2030年のグループ目標(グループ施策・グループKPI)を2021年に設定しました。

2022年度からは、中期経営計画「Compass Rose 2024」において、グループKPIの2024年のマイルストーンを設定するとともに、持株会社・各事業会社がそれぞれ取り組む施策と目標値を設定しています。今後継続的にKPIのモニタリングを行い、PDCAサイクルを回していくことで、目標の達成を目指します。

※1 マテリアリティ1の「食と健康における新たな価値の創造」は、2023年7月18日のニチレイ取締役会において、マテリアリティ、2030年のありたい姿、グループ施策、2030年度グループ目標・KPIを見直しました。  
 ※2 マテリアリティ3の「持続可能な食の調達と循環型社会の実現」では、2023年4月に、当社グループの事業活動を支える重要な食資源である水産物とパーム油に関する調達ガイドラインを制定し、グループ目標・KPIを追加しました。

グループ重要事項(マテリアリティ)	グループ施策	グループ目標(KPI)	2022年度実績	2023年度計画	2024年度目標	2030年度目標	主に取り組む事業会社	貢献するSDGsのゴールとターゲット
1 食と健康における新たな価値の創造 <sup>※1</sup>	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康や地球環境、多様化する顧客価値探索に対するR&amp;Dおよびマーケティングへの資源配分</li> <li>人々の“こころ”と“からだ”の健康や地球環境に対応した商品・サービスの開発および情報発信</li> <li>新たな領域で価値を創出・育成する仕組みをつくり、イノベーション活動を推進</li> </ul>	人々の“こころ”と“からだ”の健康や地球環境に対して付加価値を生み出す商品・サービスの売上高	464億円	—	600億円	1,400億円	<ul style="list-style-type: none"> <li>ニチレイフーズ P.38-41</li> <li>ニチレイフレッシュ P.46-49</li> <li>ニチレイ(持株会社) グループ全体の取り組み P.56-57</li> </ul>	 3.d 8.2 9.5
		人々の豊かな食生活と健康につながる情報提供(延べ人数/年)	1.03億人	—	—	2億人		
2 食品加工・生産技術力の強化と低温物流サービスの高度化	<ul style="list-style-type: none"> <li>加工食品・低温物流事業における積極的な設備投資を通じた能力増強・業務革新・環境負荷軽減・基盤整備などの推進</li> <li>グローバル人財の確保・育成やパートナー企業の開拓、M&amp;Aなどを通じた海外展開の加速</li> </ul>	EBITDA マージン	8%	9%	10%	12%	<ul style="list-style-type: none"> <li>ニチレイフーズ P.38-41, 58</li> <li>ニチレイロジグループ P.42-45, 59</li> <li>ニチレイフレッシュ P.46-49</li> </ul>	 2.4 9.1/9.4
		EBITDA 年成長率 <small>※2022、2023、2024年度は2021年度基準の成長率 2030年度は2025-2030年の年成長率</small>	5%	7%	7%	7%以上		
		海外売上高比率	20%	21%	20%	30%		
3 持続可能な食の調達と循環型社会の実現	<ul style="list-style-type: none"> <li>人権や環境に配慮したサプライチェーンの構築とデューデリジェンスに取り組む</li> <li>持続可能な資源調達やサーキュラーエコノミーの実現に取り組む</li> </ul>	ニチレイグループサプライヤー行動規範・ガイドラインに準拠したサプライヤーやOEM先からの調達率	賛同率89% (国内最重要先)	賛同率100% (国内最重要先)	賛同率100% (国内・海外最重要先)	調達率100%	<ul style="list-style-type: none"> <li>ニチレイフーズ</li> <li>ニチレイロジグループ</li> <li>ニチレイフレッシュ P.46-49</li> <li>ニチレイバイオサイエンス P.50-51</li> <li>グループ全体の取り組み P.60-65</li> </ul>	 8.7 12.2/12.6 14.4
		主要原材料と重要サプライヤーへのESGデューデリジェンス実施率	国内畜産25% (最重要先)	国内畜産50% (最重要先)	国内畜産・水産100% (最重要先)	100%		
		サーキュラーエコノミーの実現に向けたSDGs教育プログラムの受講率	—	教育プログラムを開始	100% (役職者)	100% (全従業員)		
		全拠点における廃棄物リサイクル率	99%	99%	99%	99%		
		水産事業における水産物の持続可能な水産物調達ガイドラインに準じた調達率 <sup>※2</sup>	91%	95%	100%	100%		
		うち、MSC・ASC認証品等のグローバル水産物認証品比率 <sup>※2</sup>	19%	19%	32%	50%		
		持続可能なパーム油(RSPO認証油)の調達比率 <sup>※2</sup>	100% (ブックアンドクレーム)	100% (ブックアンドクレーム)	100% (ブックアンドクレーム)	100% (認証油)		
全拠点での水リスクアセスメントを通じた水リスクの特定と保全活動を実施する	全拠点での水リスクアセスメント実施	—	簡易調査表によるアンケートを実施	2023年度に実施	定期的に全拠点での水リスクアセスメントを実施し、保全活動やBCPに取り組む	 6.3 13.1		
4 気候変動への取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>食品工場・物流センターにおける原単位でのCO<sub>2</sub>排出量削減や再生可能エネルギーの活用を推進するとともに、TCFDの提言に基づく情報開示を行う</li> <li>国内におけるすべての冷凍・冷蔵設備の自然冷媒への置き換え</li> <li>海外における実態の把握を通じた自然冷媒への置き換え</li> </ul>	CO <sub>2</sub> 排出量削減(2015年度比、国内Scope1,2)	△25%	△27%	△30%	△50%	<ul style="list-style-type: none"> <li>ニチレイフーズ P.38-41</li> <li>ニチレイロジグループ P.42-45</li> <li>グループ全体の取り組み P.66-73</li> </ul>	 7.2/7.3 13.3
		自然冷媒化率 生産設備(国内)	56%	69%	80%	100%		
		自然冷媒化率 低温物流関係(海外を含む)	58%	60%	62%	75%		
5 多様な人財の確保と育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策の効果をモニタリングするグループ共通のエンゲージメントサーベイ<sup>※</sup>の導入</li> <li>グループ従業員がそれぞれのキャリア観などに応じた働き方を選択でき、かつ、生産性向上に寄与する人事制度</li> <li>ルールの整備と活用支援 <small>※ エンゲージメントサーベイ: 経営理念の理解・共感や組織への主体的な関わり(動きがよい)を見る指標</small></li> <li>従業員一人ひとりが働きがいを感じ、健康で生き生きと働ける職場環境や企業文化づくりに向けたコミュニケーション活動の推進と公平な学びの機会の提供</li> </ul>	女性取締役・監査役比率(HD <sup>※</sup> ) <small>※HD:ニチレイ(持株会社)</small>	13%	13%	20%以上	30%以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>ニチレイフーズ</li> <li>ニチレイロジグループ</li> <li>ニチレイフレッシュ</li> <li>ニチレイバイオサイエンス</li> <li>ニチレイ(持株会社)</li> <li>グループ全体の取り組み P.54-55, 74-80</li> </ul>	 4.3/4.4 5.1/5.5
		女性管理職(ライン長)比率(HD <sup>※</sup> )	15%	18%	20%	30%		
		人財投資額(2018~2020年度平均の人財投資額に対する倍率)	1.2倍	1.5倍	1.7倍	2.0倍		